

株式会社日本人事総研

＜JIP コンプライアンスセミナー＞



【第4回】

VUCAの時代に求められる コンプライアンス

2024年12月

ハイテクノロジーコミュニケーションズ株式会社

天野 正博

© High Technology Communications, Inc. All Rights Reserved.

HTC コンプライアンス、全力支援

HTC（ハイテクノロジーコミュニケーションズ株式会社）は、「コンプライアンス、全力支援」のスローガンで、従業員の意識と行動を変えるコンプライアンス推進活動を支援します。従業員の視点にこだわり、わかりやすく、親しみやすいコンプライアンスツールを企画・制作しています。

年間サポート

コンプライアンス支援のエキスパート

こんぷろカスマ[®]

毎月新しいコンテンツが使い放題

契約社数：1200社以上

情報サイト



【第1回】 2024年6月

コンプライアンスとは？

【第2回】 2024年8月

中小企業で発生するコンプライアンス問題

【第3回】 2024年10月

コンプライアンスで重要な「誠実さ」とは？

【第4回】 2024年12月

VUCAの時代に求められるコンプライアンス

【第1回】 2024年6月

コンプライアンスとは？

【第2回】 2024年8月

中小企業で発生するコンプライアンス問題

【第3回】 2024年10月

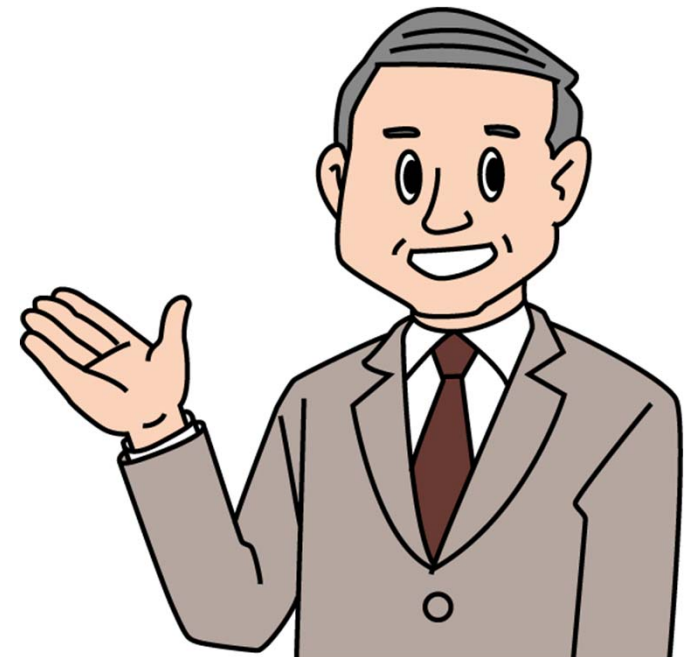
コンプライアンスで重要な「誠実さ」とは？

【第4回】 2024年12月

VUCAの時代に求められるコンプライアンス

1. VUCA時代とは何か？
2. VUCA時代に求められる
コンプライアンス
3. おわりに（全4回のまとめ）

1. VUCA時代とは何か？



VUCAとは

VUCAとは、ビジネスや社会環境において不確実性が高まり、複雑さが増す現代の状況を表す概念です。

変動性



Volatility



Uncertainty

不確実性



変化が早く、その影響が大きな時代では、過去の成功方式では乗り切ることが難しい場合がある。そのため、**多様性に富んだ集合知**が必要といわれている。

複雑性



Complexity



Ambiguity

曖昧性

【例】VUCA時代の象徴的な出来事

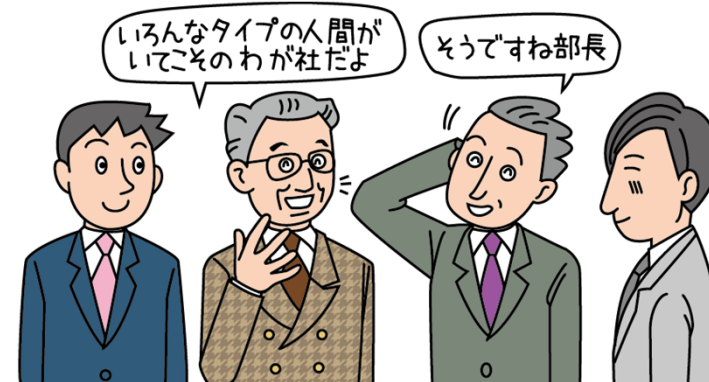
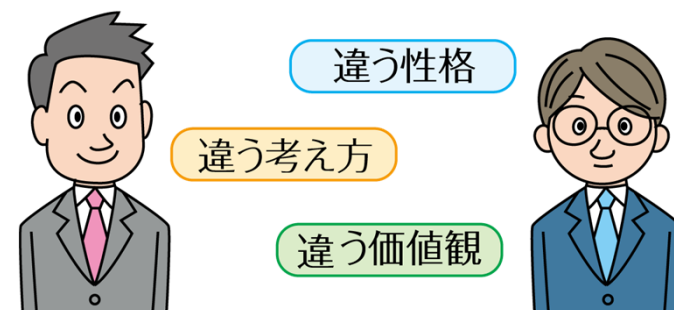
不確実性や変化、複雑性、曖昧性が顕著に表れた出来事の例は次のとおりです。

- ・ 新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミック
- ・ 世界での気候変動と異常気象
- ・ 技術革新（AIや自動運転など）
- ・ 戦争／紛争



VUCA時代と多様性

VUCA時代は、不確実性が高まり、複雑さが増すため、解決策を導き出すことが難しい時代です。多様な集合知があれば、柔軟で創造的な発想で、解決策を導きやすくなります。



多様性(ダイバーシティ)と同質性

同質性が高い集団より、多様性が高い集団は、まとめることが難しいのも事実ですが、多様性にはイノベーションや集団浅慮の防止など、大きなメリットがあります。

【例】多様性がもたらすメリット

イノベーションの促進、問題解決能力の向上、柔軟性と適応力の強化、リスクマネジメント力の向上



集団浅慮(Groupthink)とは、集団で意思決定を行う際に起こる心理的現象で、メンバーが合意を優先しすぎるために、批判的な判断や多様な意見が抑圧され、結果として非合理的な決定が下されること。同質性の高いメンバー構成で、多様な視点が欠けた際などに、集団浅慮が発生する。

2. VUCA時代に 求められる コンプライアンス



【おさらい】 コンプライアンス = 社会の要請に応えること



健全な企業運営のためには、社会（ステークホルダー）の要請にバランス良く応えることが、大切です。

VUCAの時代であっても、コンプライアンスの観点で解決策を導き出すことで、社会（ステークホルダー）に必要とされる企業として、価値が高まります。

持つべきコンプライアンスの観点

不確実性が高まり、複雑さが増すVUCA時代に持つべきコンプライアンスの観点は次のとおりです。

- ①. 誠実か否かを判断の軸にする
- ②. 「正解は一つだけではない」ことを理解・認識し、多様な複数の意見から判断する
- ③. 各ステークホルダーの視点で物事を考える
- ④. バイアスに気をつける



アンコンシャスバイアス、生存者バイアス、正常性バイアスなど、コンプライアンス問題の要因となるバイアスは多くあります。

【補足】②、③について

ある物事を各ステークホルダーの視点や、多様な意見から判断すると正解が複数あることがわかる。

【例】B to B企業の自社に、カスタマーハラスメント対策は必要か

- ・意見A：顧客から嫌がらせを受けることもあるため、対策すべき
- ・意見B：すでに顧客からのパワハラとして対策しているため、カスハラ対策は不要。現場が混乱する
- ・意見C：お客様や取引先に、自社の方針を明確にするため、対策を発表した方が良い
- ・意見D：方針を公表していないと、求人が不利になる。対策は現状のままでも良いが、方針だけは発表すべき。

【補足】④について

■アンコンシャスバイアス

無意識の偏見や思い込みのこと。（例：若者はデジタルに強い など）。誤った意思決定やコミュニケーションの要因になる

■生存者バイアス

成功した事例や生き残ったものだけに注目し、それ以外の事例を無視することで、誤った結論や判断をしてしまう

■正常性バイアス

異常な事態や危機的な状況が発生しても、「自分には関係ない」「大丈夫だろう」と現実を過小評価し、普段通りの行動を取ろうとする

3. おわりに

(全4回のまとめ)



【第1回】 2024年6月

コンプライアンスとは？

【第2回】 2024年8月

中小企業で発生するコンプライアンス問題

【第3回】 2024年10月

コンプライアンスで重要な「誠実さ」とは？

【第4回】 2024年12月

VUCAの時代に求められるコンプライアンス

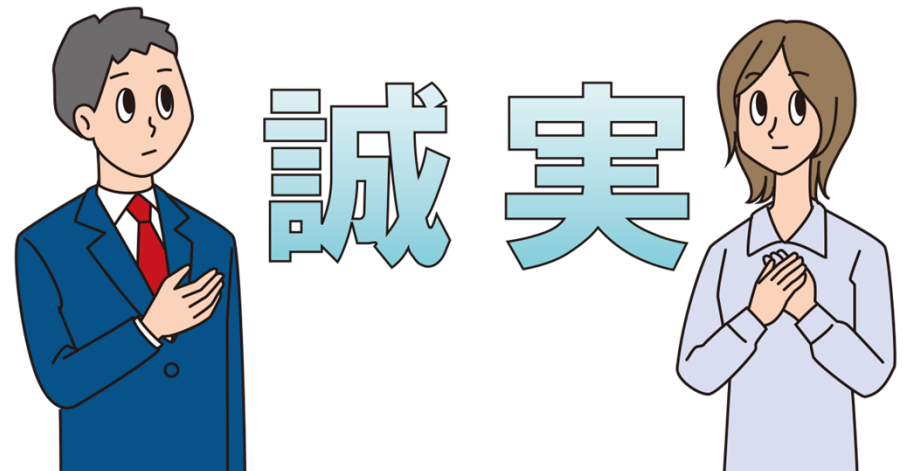
今後のコンプライアンス状況、誠実さについて

2025年は、カスタマーハラスメント対策など、コンプライアンスに関して企業・団体で対応すべきことが多く発生すると推測できます。

コンプライアンス推進は、予防が基本です。対応が後手にならないように、

定期的に最新情報を
チェックし、誠実さを
持って事前に対策します。

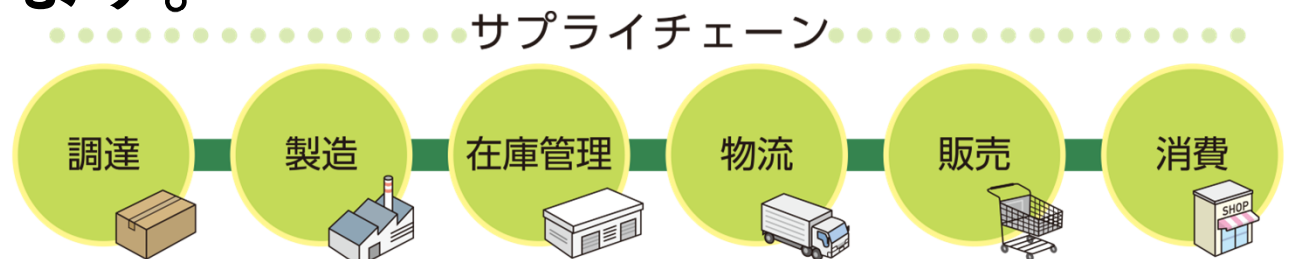
その事で、健全な企業運営が
達成されます。



今後のコンプライアンス推進について

企業でのコンプライアンス推進は、「～をしてはいけない」、「～やってはいけない」といった後ろ向きの内容ではなく、「企業価値向上のために、〇〇しよう」という前向きなものに変容しています。

また、サプライヤーに対して、コンプライアンス推進状況を確認する発注元も増えてきています。その際の回答のため、コンプライアンス活動を始める下請企業、中小企業が増えると想定しています。



ご視聴いただき、ありがとうございました。

本日の内容は、先生方の顧問先企業からのコンプライアンス相談や、顧問先企業へのコンプライアンスのアドバイスにお役立ていただければ幸いです。